

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
むかわ町こども発達支援センター穂別きらり		令和6年 11月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	・長期休み中の長時間受け入れ児に対応できるスペースがあれば良いと思われるので、工夫して受けいれできる日を増やしていきたい。 ・ルールをそれなりに設定し、工夫していく。十分力を出すことができるよう、車で移動しスポーツセンターなどの施設を利用する。	・できれば長期休み中の長時間受け入れ児に対応できるスペースがあれば良い ・中学生になると運動する場所が狭くボールや羽根がすぐに天井にひっかかる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・段差がある玄関に傾斜を設置するなど工夫されている	・小さい子用のスロープなので、必要性を考えながら車椅子も対応できるスロープを検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・暑い日は、ホールにエアコンがあるので、戸を開けて開放するか、ホールに移動して療育する。	・夏季の猛暑日にエアコンなしの個別室は厳しい。改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・評価表にて保護者の意向を確認したり反省もして参考になっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	・外部の第三者委員をお願いし、見学までは来てもらった。	・第三者委員をお願いしているが見学のみで評価までは至っていない。今後詳細チェックをお願いしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・必要な研修を受講できる環境である	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	33%	・今年度中に公表する予定	・簡単なものはあるが、支援プログラムとして公表できるようなものを作成し直したい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・日々の療育や保護者からの情報により課題を分析し計画をさくせいしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・支援管理者と職員全員と共通理解をし計画を立てている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	・フォーマルなアセスメントまでできていないので使用するようしていきたい。	・アセスメントが標準化されたツールを用いたものになっていないこともある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・個別支援計画にガイドラインに基づく5領域「健康・生活」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の視点全てを入れてたてている。計画を踏まえ日々の療育をおこなうようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	・集団療育は目的や役割の確認をしている ・個別療育についてもチームでプログラム立案を協議していきたい。	・グループ療育ではできているが、個別療育については、担当職員のみでの立案もある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・固定化しないように、療育ごとに、過去を振り返り、プログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	・全ての療育終了後、振り返り気付いたことを話し合っている。	・支援終了が遅くなり、その日のうちに伝えられない日もある。後日伝えるようにする。
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・全ての療育終了後必ず記録に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	83%	17%		・地域交流の機会・余暇の提供は体制の問題もありできていない
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・療育の中で自己決定の力を育てるよう組み立てている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・会議にはそのこどもの状況をよく理解した者が参加するように時間配分している。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なえるようお願いし、体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・必要なときは、学校との情報共有、連絡調整をすぐ行なうようにしている。 ・メールでのやりとりもできている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		・就学前に利用していた認定こども園との間で情報共有と相互理解できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	・今後該当者が出る予定なので、保護者の意向も確認し、準備していきたい。	・現在はいないので、情報提供の必要性がなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	・放課後児童クラブに所属している対象年齢の子に関しては楽しく過ごせるように連携深めている。	・地域の他のこどもと活動する機会は特別設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	・組織として参加している。必要時には情報提供している。	・医・福・保会議に必要とされたときは参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡は密にとる様又伝えるようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%	・ペアレント・トレーニングまではできていないが、有効な子育ての方法を提案しながら支援している	・ペアレントトレーニングについて研修を受けるなどしていきたい ・保護者会を開催しているが、家族支援まではいけていないので工夫していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・「放課後等デイサービス計画」を示し、懇談内容を振り返りながら、計画をわかりやすく説明するように心掛けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・第三者委員を2名お願いし、苦情があった場合には対応してもらえるようにしている。	・苦情があった場合にはすぐ対応し、問題解決に向けて話し合いをおこない、再発防止にむけた取り組みをおこなう。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・月1回の会報を発行している。	・わかりやすいようにSNSの活用を検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・個人情報の書類は事務室書簡にて鍵をかけて保存している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・無理なお願いをしていないか、傷つける発言をしていないか常に振り返り、寄り添って支援できるように心がけている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	・事業所主催で親子参加型の遊びを提供している	・大きい子向けの地域に開かれた事業を検討する必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	33%	・マニュアルは作成している。	・マニュアル作成しているが、全ての訓練までできていないので、計画していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・消防署の協力いただき、火災訓練をおこなっている。	・火災以外の非常災害時の訓練を行ってきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・こどもさんの状況を詳しく保護者から聞き、対応方法まで確認し、全職員に周知し徹底させている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	・保護者の指示のみで対応	・医師の指示書まで確認していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	・安全計画は立てているが、訓練の実施までには至っていない。	・安全に十分留意し、訓練については計画たてて、実施につなげていきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・虐待防止研修を受け事業所内で学習会を開いて伝えている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	50%	50%	・対象児童なし ・計画に記載はしていない ・現在対象児いない	